

2. 出向研究員の感想

本プロジェクトには、旭硝子(株)、旭テクノグラス(株)、岡本硝子(株)、湖北工業(株)、セントラル硝子(株)、日本板硝子(株)、日本電気硝子(株)、日本山村硝子(株)、(株)日立製作所日立電線(株)、H O Y A(株)の以上11社から12名の研究員がナノガラスつくば研究室にそれぞれ出向しております。以下に、出向研究員の研究終了に当たっての感想を述べてもらいました。

ナノガラス大阪研究室 姫井 裕助 (日本電気硝子から出向)

平成13年度から15年度まで本プロジェクトの参加メンバーであった永金の後を引き継ぎ、16年度よりアサーマルガラスの開発に従事してきました。非常に難しいテーマではありましたが、何とか最終目標を達成することができました。本プロジェクトを通して得られた多くの有意義な経験と人脈、そして反省点は、全て今後の糧になるものと確信しています。最後になりましたが、ご指導・ご支援頂きました産総研および日本電気硝子(株)の関係者の皆様に本稿を借りてお礼申し上げます。



ナノガラス大阪研究室 大家 和晃 (日本板硝子から出向)

2003年11月からおよそ2年半の間、ナノガラス大阪研究室では本当に貴重な経験を積むことができたと思います。多くの装置と高度なガラス微細加工技術を用いて最前線の研究に従事できただけでなく、国内外の多分野にわたる研究者達と出会えたことは私にとってかけがえのない財産であり、私自身の研究への取り組みを大きく変えるものでした。ナノガラス技術で得られた知識と経験を活かし、今後もガラス事業の発展に貢献していきたいと思います。



ナノガラス大阪研究室 秋田 陽介 (旭硝子から出向)

私は2004年3月より前任者の陰山の後を引き継ぎ、およそ2年間に渡ってシリコンナイトライド薄膜および導波路について研究を行って参りました。環境の変化など計画当初の目論見と異なる部分が生じたこともございましたが、無事にプロジェクト終了の運びとなって喜ばしい限りです。関係者各位には深く感謝申し上げます。この経験は良きにつけ悪きにつけ、今後に活かして参りたく存じます。



ナノガラス大阪研究室 陳 路 (岡本硝子から出向)

大阪研究室に居る間、いろんな新しいことを経験させていただき、充実した2年間を過ごしました。研究の目的意識、プロジェクトの進め方、プレゼンの仕方などについて再認識させて頂きました。他の会社の方々と仲良く一緒に仕事をすることで、皆さんの個性および研究スタイルは自分にとって非常に良い刺激でした。そして、1つの大事なネットワークができました。本当に有難うございます。これからもよろしくお願い致します。



ナノガラス大阪研究室 岡田 恵子 (HOYA から出向)

本プロジェクトに参加して4年半、「光共振器を作ること」と「自分が共振すること」を追い続けました。私自身は力不足で、今になってようやくスタートラインが見えてきたかに思える次第ですが、偉大な指導者と協力者に恵まれた、幸運な日々でありました。ここで得た貴重な経験と教訓をこれからの仕事に生かしたいと思います。本プロジェクトの間に関わった全ての方に感謝します。



ナノガラス大阪研究室 笠 晴也 (ニューガラスフォーラム嘱託)

ナノテクノロジープログラムプロジェクトに参加し、研究員として仕事をすることを誇りに思っていますし、また、この様な場を作って頂いたことに感謝しています。どうかこの恩に報いたいと毎日努力し実験をしました。私が自分に課した課題は多くの人に研究成果を見てもらうということでした。理科の好きな人が一目見ただけで理解できるような展示物を作りたい、それが私の夢でしたが皆さんに助けられその夢をかなえることができました。次はもっと人の役に立つものを作りたいと考えるようになりました。将来、もの作りで恩返しのでればいいのになあと考える毎日です。



ナノガラスつくば研究室 岩野 隆史 (セントラル硝子から出向)

ナノガラスプロジェクトでは多くの人に支えられて5年間を終了することができました。プロジェクトを通して研究テーマ以外の多くの知識も学ぶことができ、多くの人と交流ができたことが良い経験となりました。担当した研究テーマ(高強度化ガラス材料)としては満足のいく成果を出せなかったのが心残りですが、今後この5年間の経験を生かしていければと思います。



ナノガラス大阪研究室 川部 和広 (日本山村硝子から出向)

四年半に渡り新しいテーマに取り組むことの難しさを感じました。期間後半は研究体制、取り巻く環境も変化し、メンタル面で一層厳しいものになりました。そんな中、産総研の先生方、平尾先生、田中室長のお心遣いと、特別顧問の励まし、品証部の理解、研究員との交流があり、なんとか終了を迎えることが出来ました。これからも弊社と産総研、大学、NGFとの関係が続いていくことを願います。



ナノガラスつくば研究室 井本 克之 (日立電線から出向)

約4年半のプロジェクトで低損失導波路用材料の研究に従事させていただきましたが、企業内の研究と異なり、一人で研究計画立案、各種装置発注とそれらの立ち上げ、アイデアの提案、種々の実験の繰り返しによる検証、試作、改良、考察、まとめ、論文及び特許の作成、論文投稿及び寄稿とオールマイティの仕事で完了することができました。これらを思い出にこれから年金生活に入ります。関係者の皆様に感謝を申し上げますと共にナノガラスの更なる発展を期



待しています。

ナノガラスつくば研究室 武島 延仁（岡本硝子から出向）

5年の年月をプロジェクトで過ごす中で、良い意味でも悪い意味でもいろいろな経験をさせていただきました。中でも各企業の精鋭研究員の方たちと同じ屋根の下、研究をさせていただいたことは強い刺激と大きな知見を得ることができました。5年間で得たことを今後の社会生活の中で活かしていきたいと思えます。



NGF つくば研究室
(株式会社筑波研究コンソーシアム内)
茨城県つくば市東光台 5-9-9



NGF 大阪研究室
(独立行政法人 産業技術総合研究所関西センター内)
大阪府池田市緑丘 1-8-31